

平成30年度 湯沢砂防事務所 事業計画概要



YUZAWA SABO

北陸地方整備局

湯沢砂防事務所

湯沢砂防事務所の「安全で安心な地域づくり」の基本方針

湯沢砂防事務所は、信濃川の支流である魚野川、清津川、中津川の流域の約 2,200 平方キロメートルを担当し、直轄砂防事務所としては日本一の広さで砂防事業を行っています。

管内には谷川岳・苗場山などからなる「上信越高原国立公園」、越後三山・守門岳・浅草岳などからなる「越後三山只見国定公園」、巻機山を中心とする「魚沼連峰県立自然公園」があり、四季の変化に富んだ、自然豊かで美しい地域となっています。

また、管内は、関東と北陸を結ぶ上越新幹線や関越自動車道、国道17号が通っているほか、多数のスキー場や温泉などの豊かな自然を活用した日本有数のリゾート地域となっている等、日本の社会、経済活動上重要な地域となっています。

その一方で、豊かな自然の恵みを与えてくれる山々は非常に脆弱な地質と急峻地形からなっており、梅雨から秋にかけての集中豪雨や台風、冬から春にかけて豪雪および融雪によって崩れやすく、土砂の生産・流出の激しい地域です。加えて、人家集落、道路や鉄道などが山沿いに多く立地しているため、土砂災害を受けやすい地域となっています。

このような管内の特性を踏まえ、湯沢砂防事務所は、「定住交流の促進」、「個性豊かな地域づくり」、「自然との共生」を整備方針とし、技術の研鑽と開発、様々な情報の発信に努めながら、地域に根ざした砂防事業を推進し、安全で安心な地域づくりに取り組んでいます。

平成30年度事業計画のポイント

○ 被災地域における再度災害防止対策

- 平成23年7月新潟・福島豪雨により土砂災害が発生し、流域の荒廃が懸念される地域（高棚川、登川、三国川など）において砂防事業を集中的に推進することで、再度災害防止及び地域の治水安全度の向上を図ります。
- 新潟県中越地震により、多くの斜面崩壊や地すべり等が発生し、土砂移動による災害発生リスクが高まった地域（芋川、相川など）において砂防事業を引き続き計画的に実施することで、再度災害防止及び地域の治水安全度の向上を図ります。

○ 土石流などの土砂災害に対する予防的対策

- 土石流などの直接的な土砂災害から住民の生命と財産を保全することを目的とし、土石流の発生が懸念される渓流（居頭沢、赤坂沢、石黒川など）において、砂防堰堤などの施設整備を推進します。

○ 荒廃流域における土砂移動に伴った被害の抑制

- 火山噴出物からなる脆弱な地質構造を有するとともに、多くの崩壊地が点在する荒廃流域であり、近年、台風に伴う出水等で著しい土砂移動現象が生じている中津川、清津川流域において、土砂流出に伴う被害を防止するため砂防事業の計画的な推進を図ります。

○ 戦略的なメンテナンス

- 完成から約80年が経過し、老朽化が懸念される大源太川第1号砂防堰堤について、その文化的価値、景観の価値に配慮しつつ補強対策を推進することで、地域の治水安全度の向上を図ります。
- そのほか、管内にある約260基の砂防施設に関し、その状況を適切に把握したうえで、計画的、効果的な施設の機能確保対策に取り組めます。

○ 大規模土砂災害への備え

- 近年、全国において、天然ダム形成など大規模な土砂災害が発生しており、これらの災害対応においては国・県・市・地域住民が連携した迅速かつ円滑な対応が必要であることから、「大規模土砂災害を想定した合同防災訓練」などのソフト対策に取り組むことで、危機管理対応能力の向上を図ります。

3

平成30年度 事業別予算総括表

(単位:百万円)

事業区分	平成29年度 当初	平成29年度 補正	平成30年度 当初	備考
直轄砂防事業費	4,557.5	640	4,102.0	
直轄砂防事業	3,010.0	470	2,686.0	
直轄火山砂防事業	1,547.5	170	1,416.0	

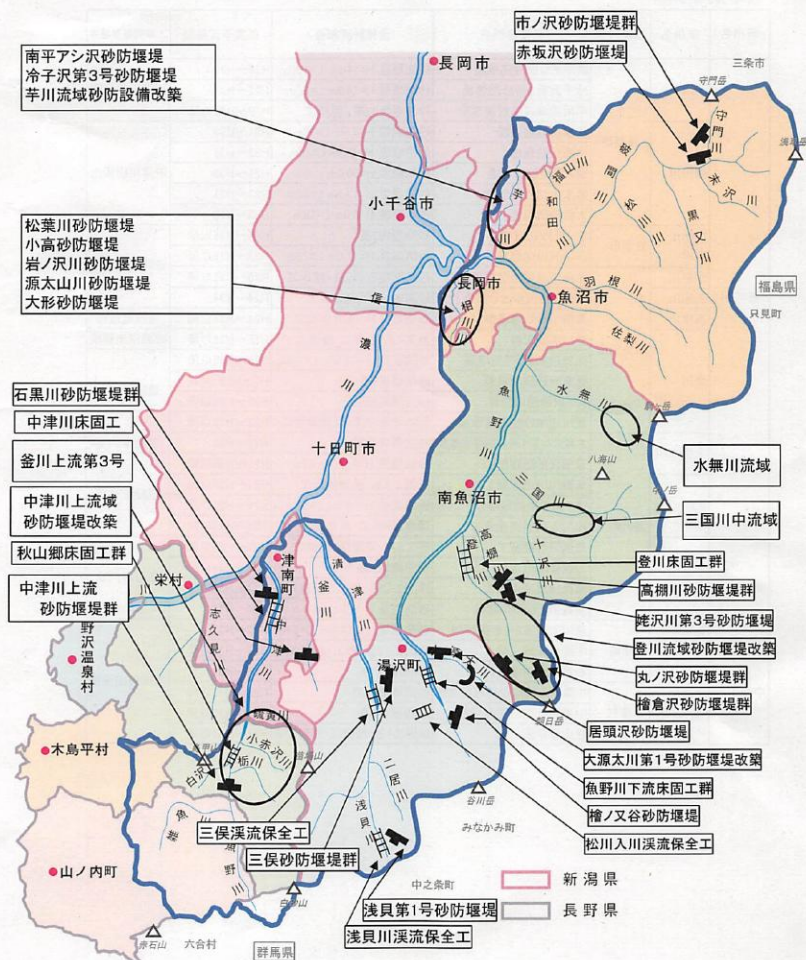
※ 業務取扱費を除く。

4

平成30年度 実施予定箇所数

事業区分	実施箇所数			
	H30継続	H30新規	計	うち完成
直轄砂防事業	33	0	33	1
直轄砂防事業	21	0	21	1
直轄火山砂防事業	12	0	12	0

5 平成30年度 事業実施予定箇所位置図



6 平成30年度 事業実施予定箇所

<砂防事業>

河川名	支川名	市町村名	事業箇所名	全体計画概要	事業予定期間	工事監督部署等	
魚野川	芋川	長岡市	南平アシ沢砂防堰堤	砂防堰堤 H=14.5m L=102m	H19～H32	破間川出張所	
			冷子沢第3号砂防堰堤	砂防堰堤 H=14.5m L=55m	H22～H31		
			芋川流域砂防設備改築	砂防堰堤改築、護岸工	H29～H35以降		
	相川川		松葉川砂防堰堤	砂防堰堤 H=7.5m L=36m	H21～H33	中津川出張所	
			小高砂防堰堤	砂防堰堤 H= 5.5m L=38m	H22～H33		
			岩ノ沢川砂防堰堤	砂防堰堤 H=10.0m L=62m	H21～H33		
			源太山川砂防堰堤	砂防堰堤 H=12.5m L=46m	H23～H31		
			大形砂防堰堤	砂防堰堤 H=6.0m L=59m	H23～H30		
	破間川上流	魚沼市	市ノ沢砂防堰堤群	砂防堰堤2基	H24～H35以降	破間川出張所	
			赤坂沢砂防堰堤	砂防堰堤 H=12.0m L=76m	H23～H35以降		
	水無川	南魚沼市	水無川流域砂防堰堤改築	砂防堰堤改築2基、護岸工	H28～H35以降	建設監督官	
	三国川		中流域土砂災害対策	砂防堰堤・溪流保全工	H24～H34		
	富樫川		砂防堰堤群	砂防堰堤群・溪流保全工	H24～H35以降		
	登川		登川床固工群	帯工4基、護岸工・魚道工	H15～H35以降		
			純沢川第3号砂防堰堤	砂防堰堤 H=12.0m L=105m	H28～H35以降		
			檜倉沢砂防堰堤群	砂防堰堤6基	H7～H33		
			大源太川	丸ノ沢砂防堰堤群	砂防堰堤2基	H25～H35以降	建設監督官
	登川流域砂防堰堤改築			砂防堰堤改築・溪流保全工	H27～H35以降		
	大源太川			大源太川第1号砂防堰堤改築	砂防堰堤改築	H26～H32	
	魚野川上流		湯沢町	居頭沢砂防堰堤	砂防堰堤 H=9.5m L=63m	H23～H35以降	建設監督官
				魚野川下流床固工群	床固工3基・溪流保全工	H27～H35以降	
檜ノ又谷砂防堰堤		砂防堰堤 H=14.5m L=97m		H29～H35以降			
松川入川溪流保全工		護岸工・帯工・魚道工		H24～H35以降			
三俣溪流保全工		帯工3基・導流堤・護岸工		H23～H35以降			
三俣砂防堰堤群		砂防堰堤3基		H29～H35以降			
清津川	浅貝川	浅貝川溪流保全工	床固工13基・帯工2基・護岸工	H24～H35以降	建設専門官		
		浅貝第1号砂防堰堤	砂防堰堤 H=8.5m L=94m	H24～H34			
中津川	中津川	津南町	釜川上流第3号砂防堰堤	砂防堰堤 H=14.5m L=57m	H27～H32	中津川出張所	
			中津川床固工群	床固工10基・帯工・護岸工	H10～H35以降		
		栄村	石黒川砂防堰堤群	砂防堰堤3基	H23～H34		
			中津川上流域砂防堰堤改築	砂防堰堤改築	H28～H35以降		
			中津川上流砂防堰堤群	砂防堰堤2基	H21～H35以降		
			秋山郷床固工群	床固工4基・護岸工・斜面対策	H27～H35以降		

7 平成30年度 主要実施予定事業

1. 芋川流域砂防事業の推進 P. 7
いもかわ
にいがた ながおか やまこし
 [新潟県長岡市山古志]
2. 相川流域砂防事業の推進 P. 8
あいかわがわ
にいがた ながおか かわごちたむぎやま
 [新潟県長岡市川口田麦山]
3. 市ノ沢砂防堰堤群の整備 P. 9
いちのさわ
にいがた うおぬま おおしらかわ
 [新潟県魚沼市大白川]
4. 高棚川砂防堰堤群の整備 P. 10
こうだながわ
にいがた みなみうおぬま ながさき
 [新潟県南魚沼市長崎]
5. 三国川中流域土砂災害対策の推進 P. 11
さぐりがわ
にいがた みなみうおぬま ひるくぼ あぜちしんでん
 [新潟県南魚沼市蛭窪・畔地新田]
6. 大源太川第1号砂防堰堤改築事業の推進 P. 12
だいげんたがわ
にいがた みなみうおぬま ゆざわ つちたる
 [新潟県南魚沼郡湯沢町土樽]
7. 三俣溪流保全工の整備 P. 13
みつまた
にいがた みなみうおぬま ゆざわ みつまた
 [新潟県南魚沼郡湯沢町三俣]
8. 浅貝川溪流保全工の整備 P. 14
あさかいがわ
にいがた みづみうおぬま ゆざわ みくに
 [新潟県南魚沼郡湯沢町三国]
9. 中津川床固工群の整備 P. 15
なかつがわ
にいがた なかうおぬま つなん いしざか
 [新潟県中魚沼郡津南町石坂]
10. 中津川上流砂防堰堤群の整備 P. 16
なかつがわ
ながの しもみのち さかえ うえのはら
 [長野県下水内郡栄村上野原]
11. 秋山郷床固工群の整備 P. 17
あきやまごう
ながの しもみのち さかえ さかい
 [長野県下水内郡栄村堺]

1. 芋川流域砂防事業の推進

いもがわ
にいがた ながおか やまこし
新潟県長岡市山古志

事業の概要

新潟県中越地震により、芋川流域では多数の河道閉塞・地すべりが発生し、そのまま放置すると越水や閉塞土塊の崩壊の危険性があったことから、新潟県の要請を受け、緊急対応及び直轄災害緊急事業等により、流域内の11地区で堰堤等を施工しました。しかし、流域内では荒廃が進行しており、未だ多量の不安定土砂が河床に堆積している状況にあります。これら不安定土砂の下流への流出抑制を図るため、砂防事業を推進します。また、中越地震後緊急的に実施した施設について、健全度不足が確認されているため、芋川流域の砂防設備改築を実施します。

整備効果

砂防事業の実施により、家屋等の保全、不安定土砂の下流への流出抑制を図り、下流域の安全を確保するとともに、再度災害を防止します。

平成30年度の事業内容

芋川流域の2箇所（南平アシ沢・冷子沢第3号）において砂防堰堤の整備進捗を図ります。また、竜光地区において、護岸工の改築を推進します。



整備中の南平アシ沢砂防堰堤



2. 相川川流域砂防事業の推進

あいかわがわ
にいがた ながおか かわぐち た むぎやま
新潟県長岡市川口田麦山

事業の概要

新潟県中越地震により魚野川の支川相川川流域では多数の斜面崩壊が発生し、流域内には多量の不安定土砂が存在しています。また、平成18年の冬は中越地方で20年ぶりの豪雪となり、その後の融雪出水等によって流域の荒廃が進みました。これら不安定土砂の下流への流出抑制を図り、下流域の安全を確保するとともに、再度災害防止のため、砂防事業の推進します。

整備効果

不安定土砂の下流への流出抑制を図り、下流域の安全を確保するとともに、再度災害を防止します。

平成30年度の事業内容

相川川流域において砂防堰堤の整備推進を図ります。



3. 市ノ沢砂防堰堤群の整備

いちのさわ
新潟県魚沼市大白川

事業概要

市ノ沢は、破間川右支川守門川の右支溪で、流域面積は1.43km²であり砂防堰堤計画地点の渓床勾配は1/7.0で急勾配となっています。

市ノ沢の渓床には過去の土砂移動により流出したと考えられる土石流堆積物が分布するとともに、溪岸崩壊が非常に多く確認されています。このような状況から、市ノ沢では計画規模降雨時において大規模な土砂移動の発生が懸念されています。

平成10年8月の豪雨では、破間川上流域の日雨量が、五味沢雨量観測所及び破間川ダム観測所で260mmを超え、破間川流域各所において土砂災害が発生しました。

このため、市ノ沢において砂防堰堤2基を整備し早期に安全の確保を図ります。

整備効果

砂防堰堤の整備により下流沿川地域における土砂災害に対する安全度を向上させるとともに、守門川沿いの家屋密集地域を土石流の直接被害から保全します。

平成30年度の事業内容

砂防堰堤群の整備を推進します。



位置図



整備中の市ノ沢第2号砂防堰堤

にいがた みなみうおぬま ながさき
新潟県南魚沼市長崎

さぐりがわ 5. 三国川中流域土砂災害対策の推進

にいがた みなみうおぬま ひるくぼ あぜちしんでん
新潟県南魚沼市蛙窪・畔地新田

事業の概要

三国川中流域では、平成23年7月新潟・福島豪雨により土石流が発生し、下流一帯が被災しました。特に、堆積土砂によって流向が変わり、土石流が高平沢に集中したため、下流の土沢地区の家屋が甚大な被害を受けました。

本流域内には、依然大量の不安定な土石流堆積物が残存しており、再度豪雨に見舞われた場合に土石流の発生が懸念されます。直下流には発電施設も存在することから、再度災害が発生した場合にはその影響がより広域に及ぶことが懸念されるため、早急に砂防堰堤を整備する必要があります。

整備効果

砂防堰堤の整備により、再度災害を防止し、下流沿川地域における土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成30年度の事業内容

溪流保全工の整備を推進します。

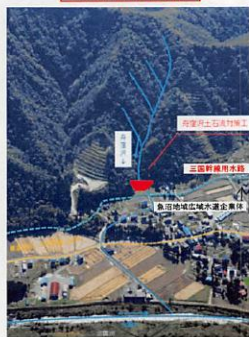
三国川中流域土砂災害対策
(蛇窪砂防堰堤群)



位置図



三国川中流域土砂災害対策
(角窪沢土石流堆積工)



だいげん た がわ 6. 大源太川第1号砂防堰堤改築事業の推進

にいがた みなみうみぬま ゆざわ つらたる
新潟県南魚沼郡湯沢町土樽

事業の概要

大源太川第1号砂防堰堤は、昭和14年11月に完成した日本でも最初期のアーチ式砂防堰堤のひとつです。完成から77年が経過し、堤体の損傷が著しく、機能を維持するため、補強対策の必要があります。

このため、基幹堰堤である大源太川第1号砂防堰堤の改築を実施します。

整備効果

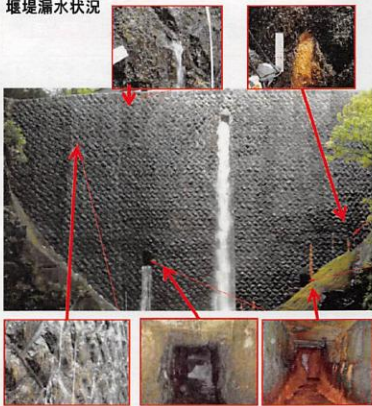
施設を保全し、下流域の土砂災害に対する安全度の確保します。

平成30年度の事業内容

砂防堰堤の改築を推進します。



堰堤漏水状況



H28年度仮橋竣工



H29年度
排水トンネル着手

7. 三俣溪流保全工の整備

新潟県南魚沼郡湯沢町三俣

事業の概要

清津川は、荒廃が著しい白砂山を水源とする急流河川で、過去から多量の土砂が流出し続けています。

平成23年9月の台風12号による増水においても、上流から多量の土砂が流出するとともに、溪岸侵食等の被害が沿川の至る所で発生しました。

清津川中流域の三俣地区では、日本海側と関東圏域を結び緊急輸送道路に指定されている国道17号と清津川右支川の浅貝川が並走するとともに、湯沢町の主要観光施設があり、多くの観光客が訪れています。

このため、重要交通網の保全や清津川沿川地域の土砂災害を防止するため三俣溪流保全工の整備を推進します。

整備効果

溪流保全工の整備により、不安定土砂の下流への流出抑制を図り、流出土砂による河床上昇に起因する流域内や下流域の土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成30年度の事業内容

溪流保全工の整備を推進します。



清津川沿いに立地する集落（三俣地区）や国道17号等を保全するため、溪流保全工を整備します

位置図



平成25年9月 台風18号による増水に伴う土砂移動で護岸が被災

あさかいがわ 8. 浅貝川溪流保全工の整備

にいがた みなみうねぬま ゆざわ みくに
新潟県南魚沼郡湯沢町三国

事業の概要

清津川は、荒廃が著しい白砂山を水源とする急流河川で、過去から多量の土砂が流出し続けています。

平成23年9月の台風12号及び平成25年9月の台風18号による増水でも、上流から多量の土砂が流出するとともに、溪岸の侵食等の被害が沿川の至る所で発生しました。

清津川上流域の浅貝地区は、日本海側と関東圏域を結び緊急輸送道路に指定されている国道17号と清津川右支川の浅貝川が並走するとともに、湯沢町の主要観光施設があります。

重要交通網の保全や浅貝川沿川地域の土砂災害を防止するため、浅貝川溪流保全工の整備を推進します。

整備効果

溪流保全工の整備により、不安定土砂の下流への流出抑制を図り、流出土砂による河床上昇に起因する土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成30年度の事業内容

溪流保全工の整備を推進します。



位置図



H23.8 台風12号豪雨による増水水状況

なかつがわ
9. 中津川床固工群の整備

にいざた なかうねま つなん いしざか
 新潟県中魚沼郡津南町石炭

事業の概要

信濃川水系中津川の下流では、上流からの流出土砂により局所的な堆積と深堀が繰り返されており、昭和56、57、58年には相次いで堤防・護岸等が決壊し、道路や公園、田畑等への被害が発生しています。

近年では、平成25年9月の台風18号豪雨により新たに大量の不安定土砂が発生・堆積していることから、沿川地域を土砂災害から保全するため、床固工群の整備を推進します。

整備効果

床固工群の整備により、不安定土砂の下流への流出抑制を図り、流出土砂による河床上昇に起因する土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成30年度の事業内容

床固工群の整備を推進します。



位置図



平成25年9月 台風18号豪雨での増水状況
 (中津川床固工群 第3号床固工)

10. 中津川上流砂防堰堤群の整備

なかつがわ

ながの しもみのち さかえ うえのはら
長野県下水内郡栄村上野原

事業の概要

中津川流域は、苗場山、鳥甲山等からの火山噴出物により形成された非常に脆弱な地質で構成されているため、絶えず崩壊が繰り返され、多量の土砂が下流へ流出しています。

渓流内には崩壊地が多数存在し、河床には多量の不安定土砂が堆積しており、昭和56年8月の台風15号や平成25年9月の台風18号による豪雨で甚大な被害が発生しています。

このため、土砂災害から下流沿川地域を保全するため、砂防堰堤群及び溪流保全工の整備を推進します。

整備効果

砂防堰堤及び溪流保全工の整備により下流沿川地域における土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成30年度の事業内容

砂防堰堤群及び溪流保全工の整備を推進します。



位置図



平成25年9月 台風18号での増水状況
(中津川上流溪流保全工)

あきやまごう 11. 秋山郷床固工群の整備

ながの しも の ち さかえ さかい
長野県下水内郡栄村 郷

事業の概要

中津川流域は、苗場山、鳥甲山等からの火山噴出物により形成された非常に脆弱な地質で構成されているため、絶えず崩壊が繰り返され、多量の土砂が下流へ流出しています。

渓流内には崩壊地が多数存在し、河床には多量の不安定土砂が堆積しており、昭和56年8月の台風15号や平成25年9月の台風18号による豪雨で甚大な被害が発生しています。

また、平成27年9月の台風18号に伴う出水においても、溪岸侵食に伴った斜面崩落が発生しています。当該崩壊地の背後には国道405号があることから、長野県、栄村との情報共有を図りつつ、対策を講じるとともに、斜面対策と併せ、床固工の整備を推進することで、土砂災害から国道や周辺地域及び下流の沿川地域を保全します。

整備効果

床固工群の整備により溪岸侵食の抑制及び河床に堆積した不安定土砂の再移動を防止し、下流沿川地域における土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成30年度の事業内容

斜面対策工の整備を推進します。



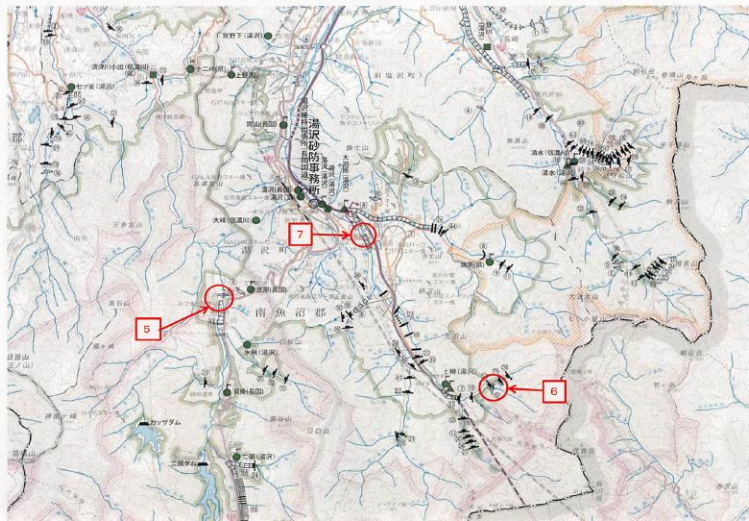
位置図

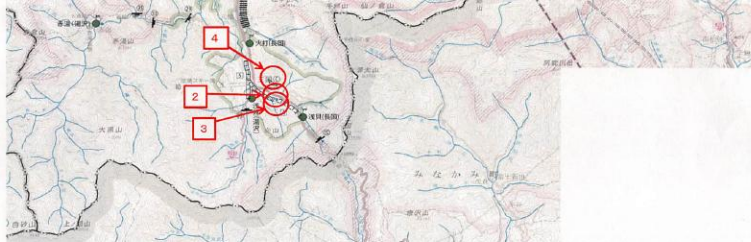


溪岸侵食及び斜面の崩落状況

- 川の防災情報 国土交通省
(全国のリアルタイム雨量や川の水位など)
【パソコン】<http://www.river.go.jp/>
【携帯電話】<http://river.go.jp/>
- 国土交通省防災情報提供センター
(雨量のリアルタイムレーダーなど)
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/index.html>
- 新潟県河川防災情報システム
(新潟県内の川の水位やダム の観測情報など)
<http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/kasen/index.html>
- 新潟県土砂災害警戒情報システム
(新潟県内の雨量や土砂災害危険箇所の情報など)
<http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/sabou/index.html>
- 気象庁
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

平成30年度工事施工箇所位置図（湯沢町）

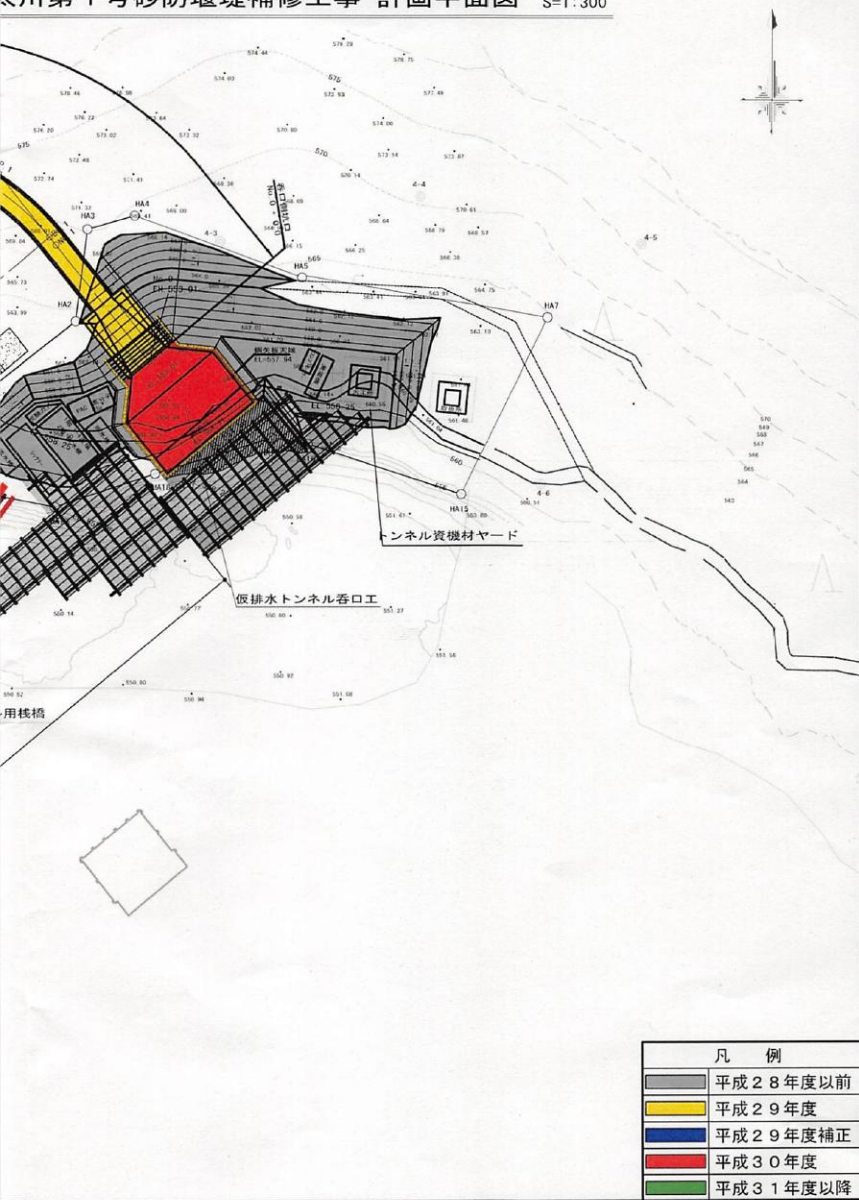


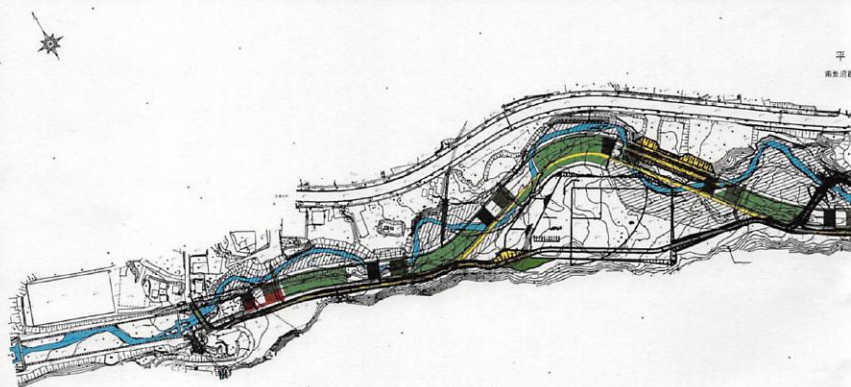


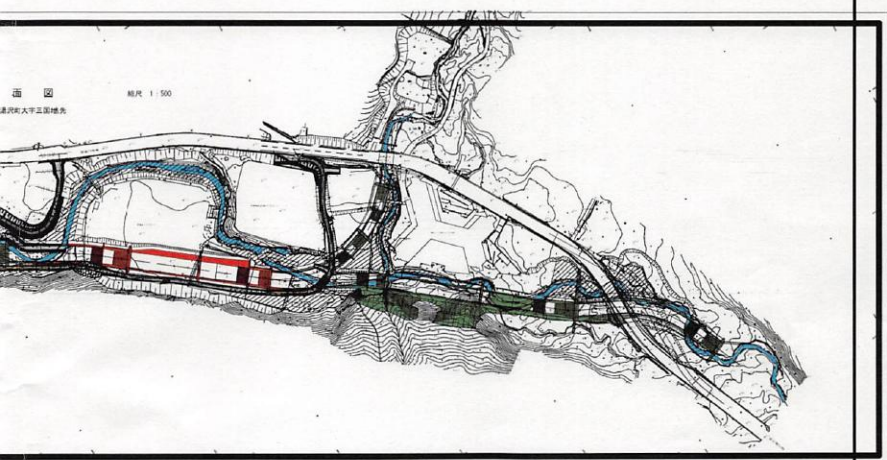
工 事 名	河 川 名	溪 流 名	施 工 箇 所		工 種	工 期 (予 定)	摘 要
			市 町 村	地 先			
1 大源太川第1号砂防堰堤補強工事	魚野川	魚野川 (大源太川)	湯沢町	旭原	堰堤改築	H27.03 ~H30.12	
2 浅貝川溪流保全工(3工区)外工事	清津川	清津川 (浅貝川)	湯沢町	三国	流路工 床固工	H30.03 ~H30.11	(1工区)を 含む
3 浅貝川溪流保全工(3工区)その2工事	清津川	清津川 (浅貝川)	湯沢町	三国	流路工 床固工	H30.05 ~H30.12	
4 浅貝川第1号砂防堰堤その3工事	清津川	清津川 (浅貝川)	湯沢町	三国	堰堤工	H30.05 ~H30.12	
5 三俣溪流保全工その6工事	清津川	清津川	湯沢町	三俣	流路工	H30.05 ~H30.12	
6 榑ノ又谷砂防堰堤工事用道路工事	魚野川	魚野川 (松川入川)	湯沢町	土樽	工事用道 路	H30.06 ~H30.11	
7 魚野川下流床固工群その2工事	魚野川	魚野川	湯沢町	土樽	流路工 魚道工	H30.10 ~H31.02	
平成30年度魚野川外管内保全作業	魚野川等	魚野川等	湯沢町 南魚沼市		保全作業	H30.04 ~H31.03	
平成31年度魚野川管内保全作業	魚野川等	魚野川等	湯沢町 南魚沼市		保全作業	H31.03 ~H32.03	

青番号の工事は今年度契約し来年度施工予定工事

太川第1号砂防堰堤補修工事 計画平面図 S=1:300

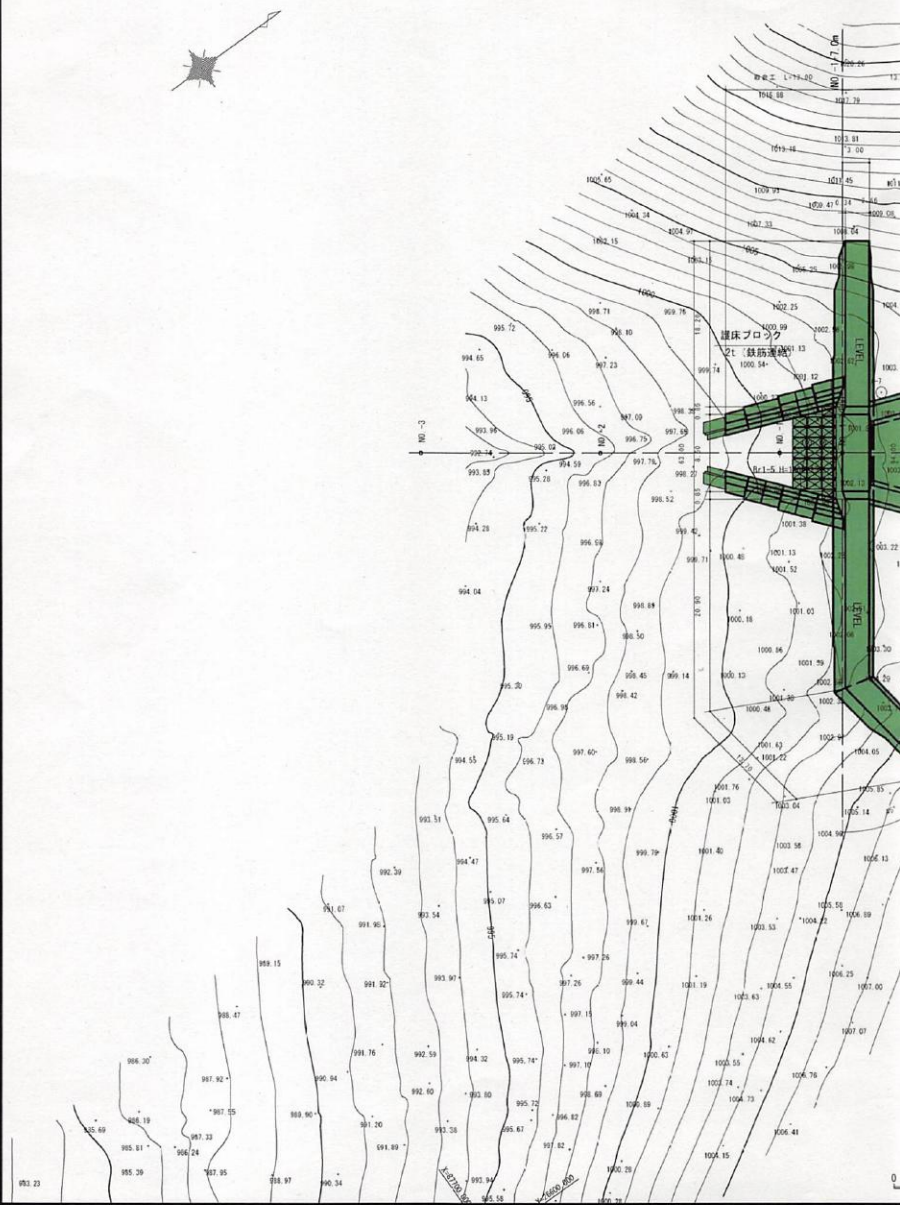




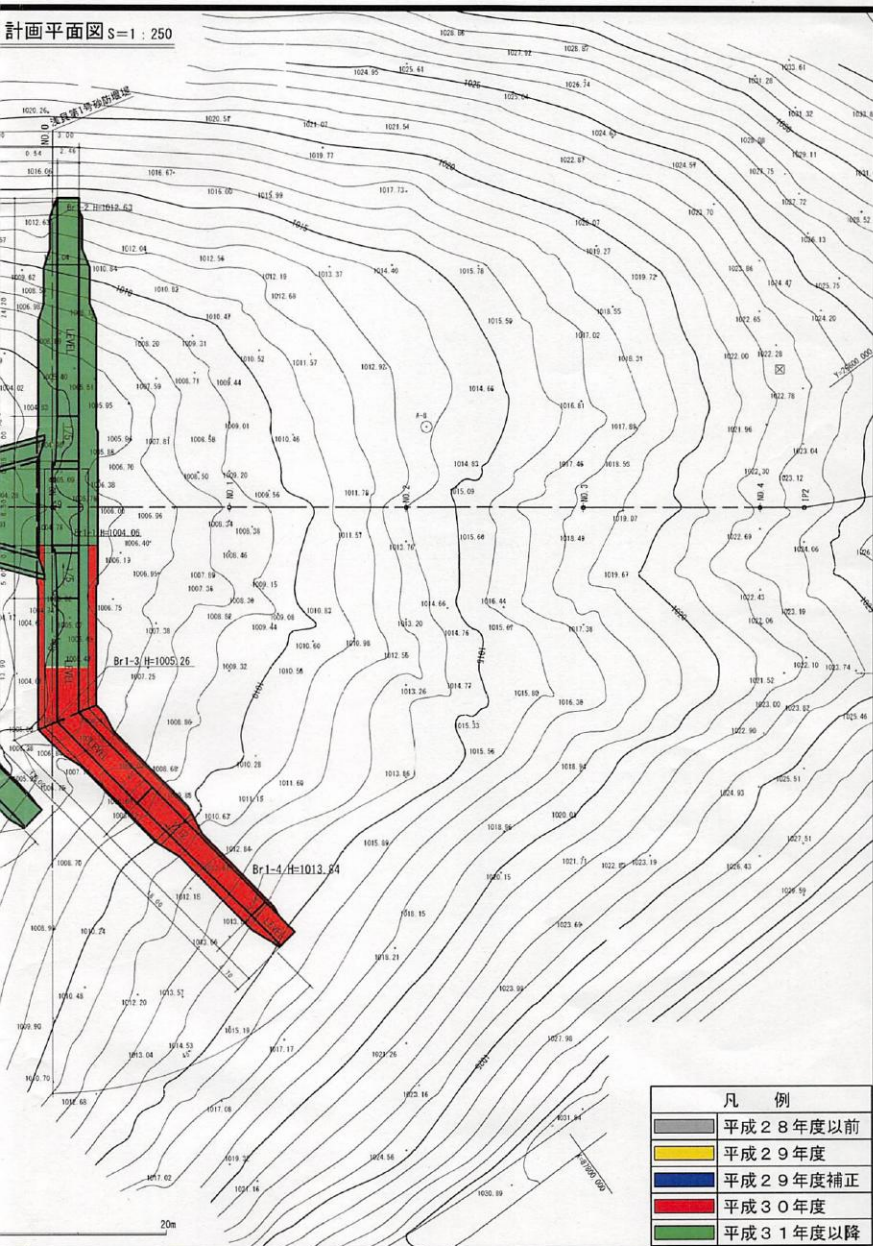


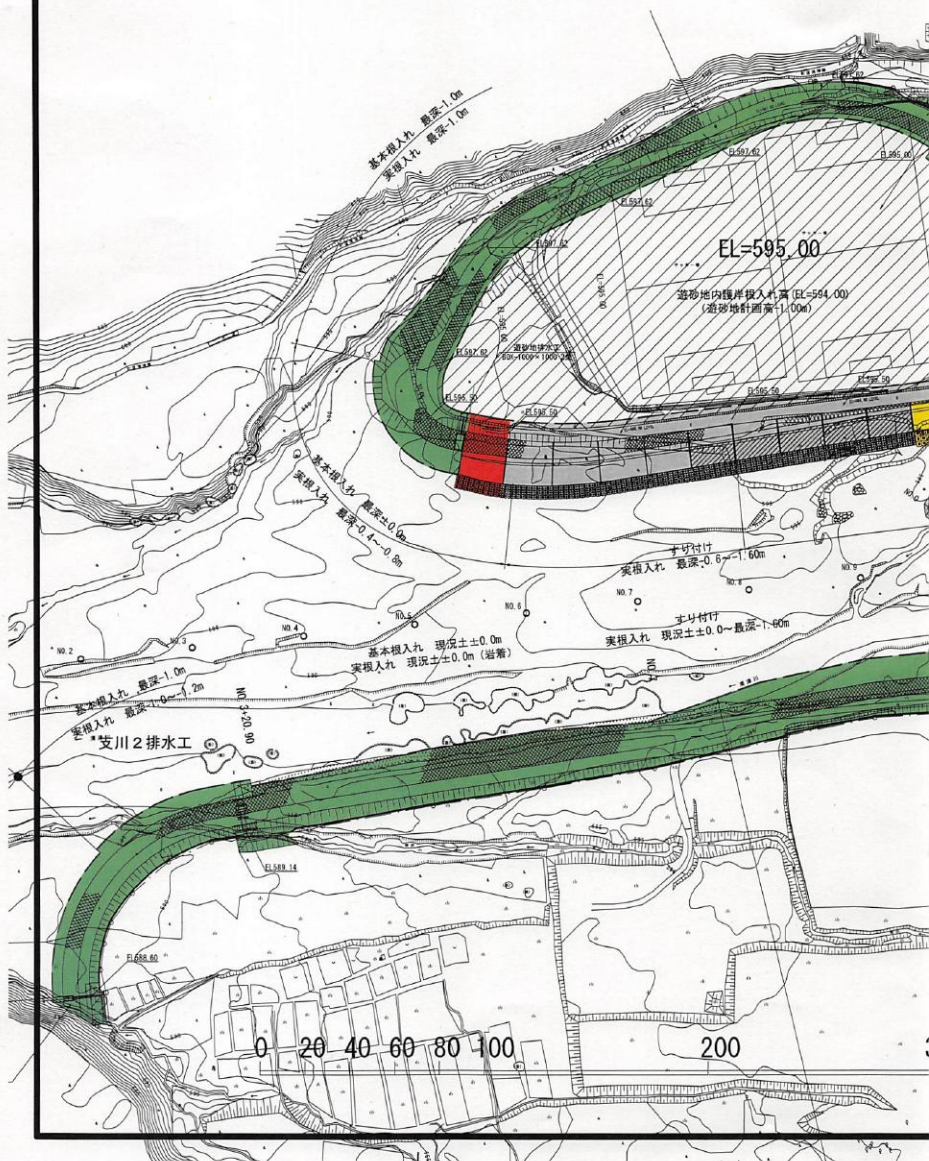
凡 例	
	平成28年度以前
	平成29年度
	平成29年度補正
	平成30年度
	平成31年度以降

浅貝川第1号砂防堰堤



計画平面図 S=1:250





平面図 S=1:1000

遊砂地

八木沢

管理道路橋

污水处理場

1号帯工

工事用道路

河床掘削

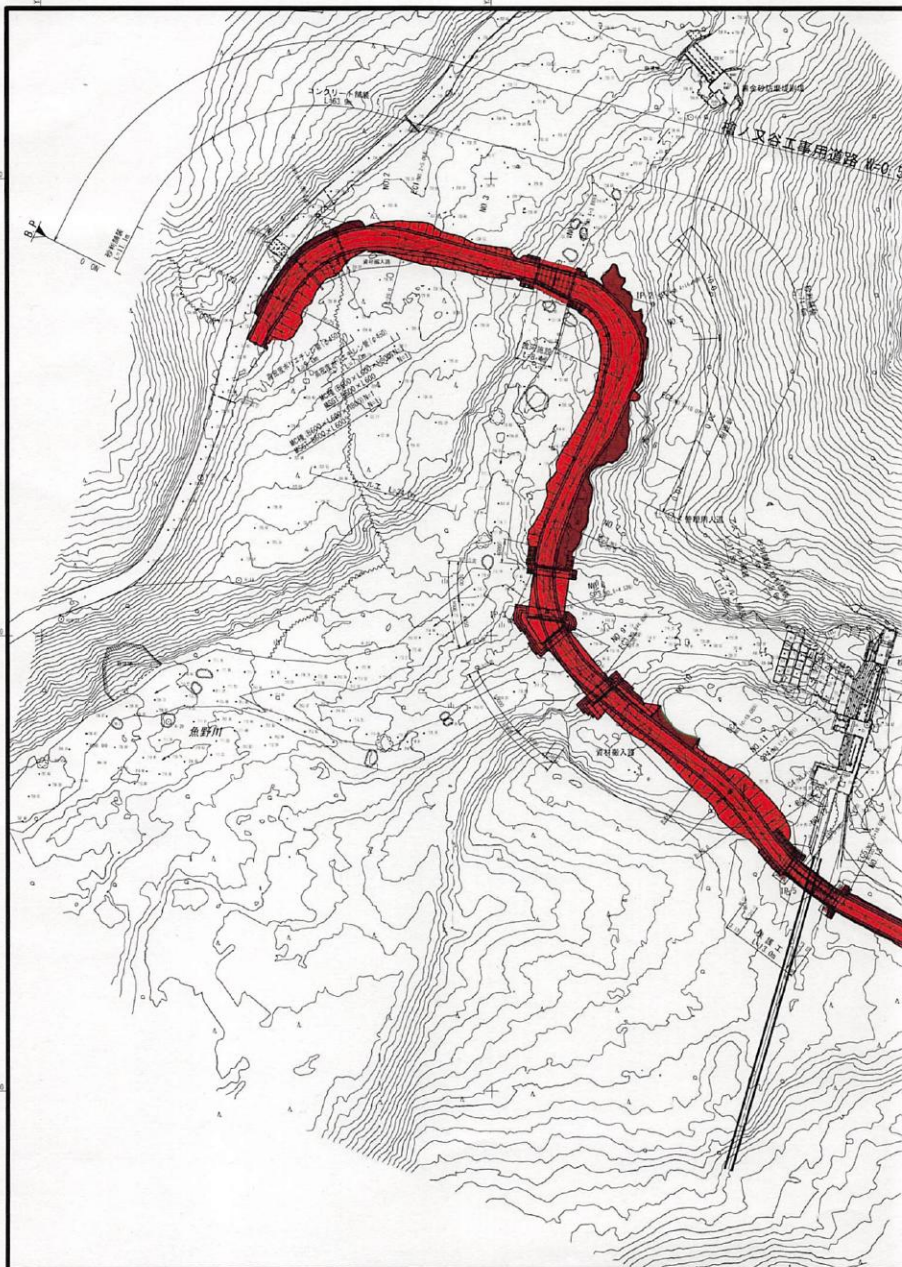
基本掘入れ 最深-1.0m
実掘入れ 最深-1.0~-2.2m
基本掘入れ 最深-1.0m
実掘入れ 最深-1.0~-2.2m

基本掘入れ 最深-1.0m
実掘入れ 最深-1.4~-1.9m

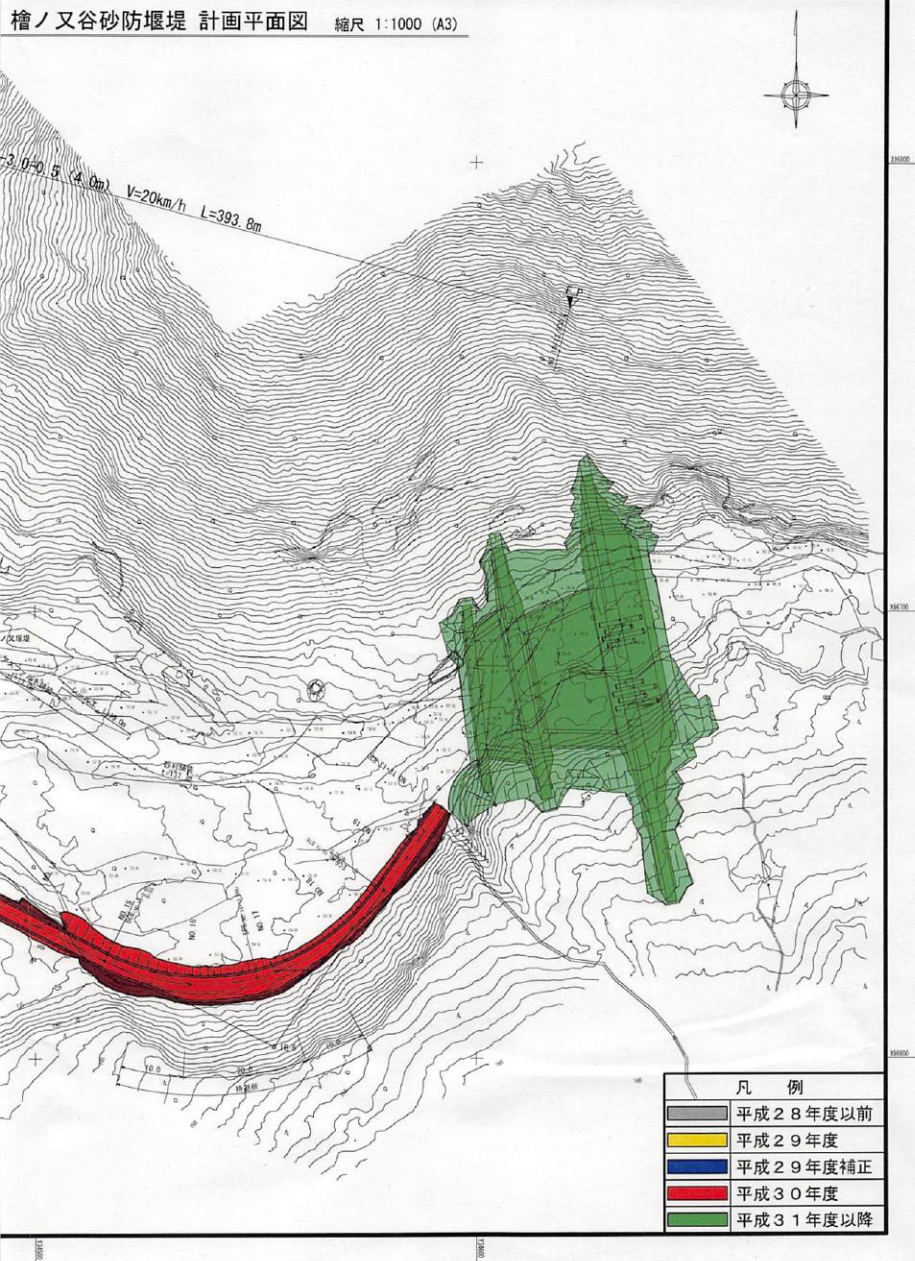
300 400 500m

凡 例

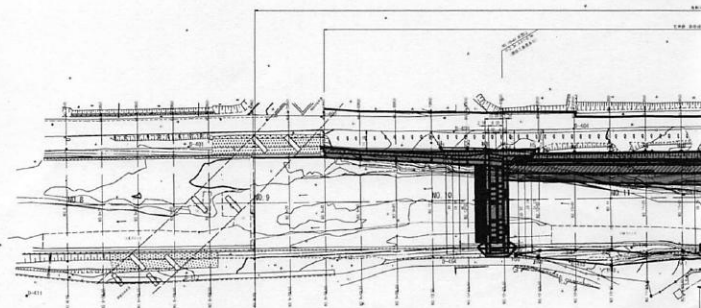
	平成28年度以前
	平成29年度
	平成29年度補正
	平成30年度
	平成31年度以降



檜ノ又谷砂防堰堤 計画平面図 縮尺 1:1000 (A3)



計画平



S=1:1250

